

## 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 320,000,000 株  
 発行済株式の総数 ..... 68,019,379 株  
 株主数 ..... 13,944 名

### 大株主

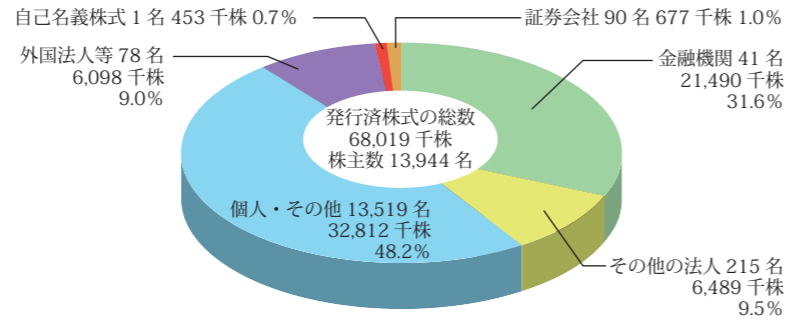
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %	持株数 千株	出資比率 %
みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託	4,592	6.75		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	2,604	3.82		
第一生命保険相互会社	2,100	3.08		
株式会社森精機製作所	2,000	2.94	100	0.10
株式会社三井住友銀行	1,516	2.22		
株式会社北越銀行	1,484	2.18	477	0.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,484	2.18		
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,298	1.90		
ツガミ取引先持株会	1,277	1.87		
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505012	1,121	1.64		

(注) 1. 出資比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数 4,592 千株は、(株)東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は(株)東京精密が留保しております。また、当社は(株)東京精密の株式 65 千株 (出資比率 0.16%) を所有しております。

## 会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商号 株式会社ツガミ  
 設立 昭和12年3月  
 本店所在地 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号  
 資本金 10,599百万円  
 従業員数 523名  
 役員状況 (平成21年6月19日現在)  
 代表取締役社長執行役員 西嶋尚生  
 代表取締役専務執行役員 森内信行  
 " 菊池克治  
 " 新嶋敏治  
 取締役常務執行役員 本間利雄  
 社外取締役 中川威雄  
 " 鱈見満裕  
 常勤監査役 大宮郁士  
 社外監査役 梅岡匡爾  
 " 渡邊光一郎  
 " 太田邦正  
 本社・工場 本社 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号  
 長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号  
 信州工場 長野県佐久市中込3600番地  
 高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2  
 新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地  
 営業拠点 東日本営業部 (東京)  
 北関東営業部 (大宮)  
 諏訪営業部 (諏訪)  
 中部営業部 (名古屋)  
 西日本営業部 (大阪)  
 韓国ソウル支店  
 ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー  
 株式会社ツガミ総合サービス  
 株式会社ツガミプレジジョン  
 津上精密机床 (浙江) 有限公司 (中国)  
 TSUGAMI (THAI) CO., LTD. (タイ)  
 TSUGAMI GmbH (ドイツ)

## 所有者別株式分布状況



## 株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日  
 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同連絡先 郵便番号 137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-232-7111(通話料無料)  
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.tsugami.co.jp/>)に掲載いたします。  
 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。  
 上場金融商品取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

## お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

# 株主の皆様へ

第106期報告書 平成20年4月1日～平成21年3月31日



## ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

さて、当社第106期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、百年に一度と言われる未曾有の経済危機の状況に陥りました。工作機械業界におきましても、年の中盤までは内需の減少を外需が補う展開でしたが、景気が急減速した10月以降は外需も全地域にわたり急落しました。業種的にも当社の主要対象マーケットであるHDDをはじめとするIT分野、自動車など全部門で厳しい状況にあります。

このような状況の下で、当社グループは環境・省エネ対策が求められる自動車関連、さらに高精度化するIT関連およびその他の業界のニーズに応える精密加工機械を引き続き提供するとともに、新製品を市場に提供してまいりました。また、グループ全体で生産拠点の再編・効率化を図り、経費の削減も進め、受注減少に伴う業績面への影響を最小限に食い止めるよう努めてまいりました。

この結果、当社グループの売上高は、22,687百万円 (前年同期比20.4%減) となりました。また、損益につきましては、営業利益は810百万円 (前年同期比70.9%減)、経常利益は626百万円 (前年同期比77.3%減)、当期純損益は株式評価損1,163百万円、減損損失99百万円等を計上いたしました結果、873百万円の損失となりました。

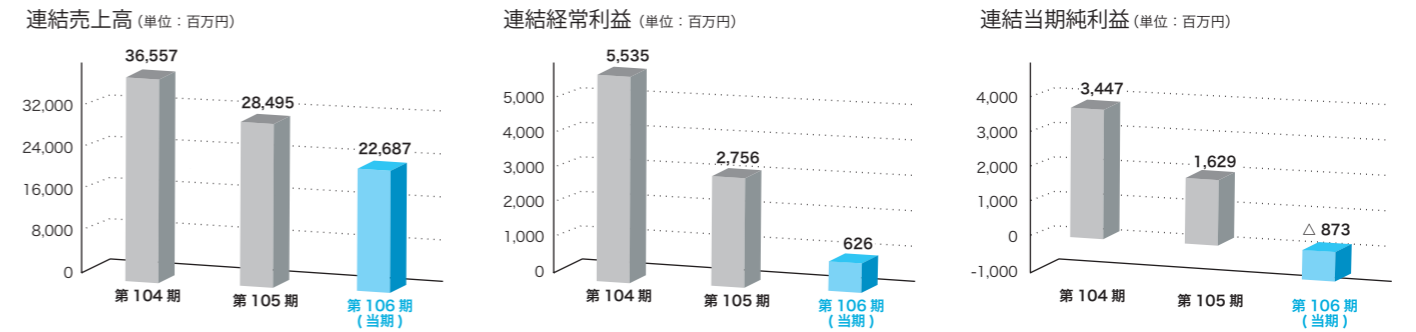
期末配当金につきましては、当初予想どおりの1株につき5円の配当とさせていただきます。中間配当金と合わせると、年間配当は1株につき10円となります。今後の配当につきましては、業績連動を基本としつつ企業体質の強化を図りながら安定配当を続けてまいりたいと考えております。

また、引き続きお客さまのニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実にも努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客さまに信頼され必要とされる製品を提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月  
 取締役 社長執行役員 西嶋尚生

## 業績の推移



## 営業成績および財産の状況の推移

区分	第104期		第105期		第106期 (当期)	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
売上高(百万円)	36,557	35,255	28,495	27,962	22,687	22,043
経常利益(百万円)	5,535	5,110	2,756	2,564	626	625
当期純利益(百万円)	3,447	3,257	1,629	1,544	△ 873	△ 540
1株当たり当期純利益(円)	46.36	43.80	23.03	21.82	△ 12.88	△ 7.98
総資産(百万円)	35,943	35,186	32,732	32,031	25,703	25,425
純資産(百万円)	23,450	22,723	21,916	21,137	19,718	19,277
1株当たり純資産(円)	322.67	312.66	319.50	308.02	289.07	282.55

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表

### ◆ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	16,486	22,735
現金及び預金	3,238	3,402
受取手形及び売掛金	4,677	9,662
たな卸資産	8,180	9,046
その他	389	624
固定資産	9,184	9,997
有形固定資産	6,633	7,035
建物・機械装置・運搬具等	5,806	6,170
土地	591	598
その他	235	266
無形固定資産	43	43
投資その他の資産	2,508	2,918
繰延資産	32	—
資産合計	25,703	32,732
負債の部		
流動負債	3,855	9,913
支払手形及び買掛金	2,129	8,220
短期借入金	500	—
未払法人税等	46	691
その他	1,179	1,000
固定負債	2,129	903
社債	1,200	—
その他	929	903
負債合計	5,984	10,816
純資産の部		
株主資本	20,019	21,623
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,138	4,138
利益剰余金	5,373	6,936
自己株式	△ 92	△ 50
評価・換算差額等	△ 487	66
その他有価証券評価差額金	△ 508	40
為替換算調整勘定	20	26
新株予約権	187	226
純資産合計	19,718	21,916
負債純資産合計	25,703	32,732

### ◆ 連結株主資本等変動計算書 当期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等計		
平成20年3月31日残高	10,599	4,138	6,936	△ 50	21,623	40	26	66	226	21,916
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 679		△ 679					△ 679
当期純損失(△)			△ 873		△ 873					△ 873
自己株式の取得				△ 84	△ 84					△ 84
自己株式の処分			△ 9	42	32					32
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 548	△ 5	△ 554	△ 39	△ 593
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 1,562	△ 41	△ 1,604	△ 548	△ 5	△ 554	△ 39	△ 2,197
平成21年3月31日残高	10,599	4,138	5,373	△ 92	20,019	△ 508	20	△ 487	187	19,718

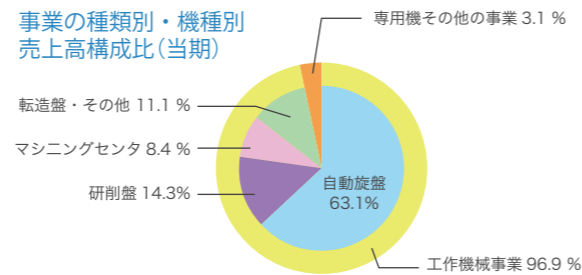
### ◆ 連結損益計算書

(単位：百万円)

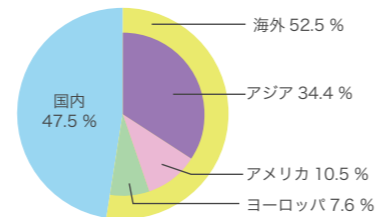
科目	当期	前期
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
売上高	22,687	28,495
売上原価	18,068	22,142
売上総利益	4,618	6,352
販売費及び一般管理費	3,808	3,568
営業利益	810	2,784
営業外収益	149	136
営業外費用	332	164
経常利益	626	2,756
特別利益	106	47
特別損失	1,488	126
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 754	2,677
法人税・住民税及び事業税	60	1,037
法人税等調整額	58	11
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 873	1,629

### ◆ 売上高構成比 (連結)

事業の種類別・機種別  
売上高構成比(当期)



地域別売上高構成比(当期)



## 新製品を市場に投入

### ◆ CNC 精密自動旋盤 SS32L

SS32のシリーズ機として、ガイドブッシュレス加工専用機である「CNC 精密自動旋盤 SS32L」を発表いたしました。

ガイドブッシュレス加工では、高価な研磨材は不要です。安価な引き抜き材から高能率・高精度加工が可能です。

また、モジュラーツーリング方式を採用し、後くし刃と背面刃物台は、回転工具、内径ホルダ、ターニングホルダの組み合わせにより、ワークに合わせてツールを自由に配置できます。

さらにツーリングゾーンを広くし、ツーリングセットアップ、切粉処理を容易にし、操作性が向上しました。



## 展示会に出展

国内外の取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

2008年10月30日から6日間、東京ビッグサイトにて第24回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2008)に出展し、国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に会場いただき、活発な商談を行いました。



## 当社の主な商品



### CNC 精密自動旋盤

熱の影響が最小となるよう工具を配置、また高速加工での振動を抑え込む剛性の高い鋳脚脚により、長時間安定した精度で加工できます。

自動車部品、HDD 部品、OA 機器、医療機器、デジタルカメラ、携帯電話、光通信等の幅広い分野の小物部品で精度の高い量産加工に最適です。

### CNC 精密円筒研削盤

生材から焼入れ鋼、セラミックス等の高硬度部品まであらゆる分野の中、小物部品の円筒研削加工に対応。金型ピンのような一品物から自動車のエンジン部品、変速機部品、油圧部品、IT 関連部品、医療機器等の加工品をオートローダ、自動計測を備えた大量生産の全自動加工システムまで、お客様の生産形態に合わせてご要望にお応えします。



### CNC 精密ターニングセンタ



旋盤加工及びマシニング加工を1台でこなす工程集約形の複合加工機。旋盤とマシニングセンタ2台で加工していたものを1台に集約、段取り替えなしで複数ワークを加工などの高度な要求にお応えします。

### 精密マシニングセンタ

家電・OA 機器を含む IT 関連のアルミ小物部品から鉄系自動車部品・産業機械部品等、加工目的に応じてマシニングセンタをシリーズ化。工場レイアウトが容易な省スペース設計の立型・横型をそろえ、最適なシステムを提案します。

